

# MAZDA SOCIAL CONTRIBUTION REPORT 2023

マツダ社会貢献活動年次報告書2023



## 編集方針

---

マツダが国内・海外で実施している社会貢献活動をご報告します。

## 報告対象

---

**対象組織**：マツダ株式会社およびグループ会社を含むマツダグループ全体について報告。

**対象期間**：2022年4月から2023年3月（各グループ会社・財団の決算期ベース）

## 海外拠点の正式名称

---

MNAO	マツダノースアメリカンオペレーションズ
MCI	マツダカナダ, Inc.
MMVO	マツダメヒコビークルオペレーション
MSA	マツダサザンアフリカ (Pty) Ltd.
MA	マツダオーストラリア Pty. Ltd.
MMNZ	マツダモーターズオブニュージーランド Ltd.
MCOL	マツダデコロンビア S.A.S.
MST	マツダセールス（タイランド）Co., Ltd.
AAT	オートアライアンス（タイランド）Co., Ltd.
CMA	長安マツダ汽車有限公司

## CONTENTS

P3	取り組み基本方針 推進体制 社会貢献プログラム影響評価指標 マツダ社会貢献活動優秀賞
P4	従業員のボランティア活動支援 自然災害被災地支援 財団を通じた社会貢献
P5	活動レポート（環境）
P7	活動レポート（安全）
P8	活動レポート（人材育成）
P10	活動レポート（地域貢献）

## 各国・地域のニーズに即した社会への貢献

良き企業市民としての責任を果たすため、それぞれの国・地域のニーズに即した社会貢献取り組みを継続的に行っていきます。

### 取り組み基本方針

#### 基本理念

グローバルにビジネスを展開しているマツダは、企業活動を通じて、持続可能な社会の実現に寄与するために、それぞれの地域のニーズに即した取り組みを継続的にを行い、良き企業市民としての責任を果たしていきます。

#### 活動方針

- 国内・海外のマツダグループの本業を通して社会的課題に積極的・継続的に取り組む。
- 地域と協働し、それぞれの地域ニーズに即した活動を行い持続可能な社会の発展に貢献する。
- 従業員の自発的ボランティア活動を重視・支援する。多様な価値観を取り入れることで、柔軟性のあるいきいきとした企業風土の醸成を目指す。
- 活動内容を積極的に開示し、社会との対話に努める。

#### 3つの柱

「環境・安全」「人材育成」「地域貢献」の3つを社会貢献活動の柱とし、地域に根ざした活動を推進していきます。

#### 社会貢献 取り組み基本方針3つの柱



### 推進体制

2010年5月に「社会貢献委員会」を設置し、定期的に（年2回）開催する委員会では、CSR経営戦略委員会で決定した社会貢献に関する方針などに基づき、マツダグループ全体の課題を討議し情報を共有しています。

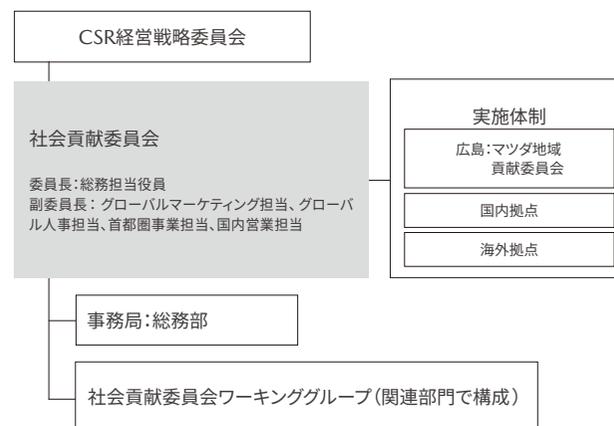
関連部門で構成するワーキンググループでは、具体的な活動内容を検討します。

2010年からの委員会活動を通じて、グローバルおよびグループ視点での情報収集・活用を継続的に強化しています。個々の活動の実施にあたっては、各拠点・各部門がそれぞれ予算化し対応しています<sup>※1</sup>。

#### 2022年度の主な実績

- 国内・海外で、700件<sup>※2</sup>以上の活動を実施しました<sup>※3</sup>（社会貢献活動費：約20.6億円）。
- 社会貢献プログラム影響評価指標に基づいたマツダ社会貢献活動優秀賞を設立し、PDCAサイクルを継続しています。

#### 推進体制図



### 社会貢献プログラム影響評価指標

社会の課題を解決するとともに、企業価値の向上に貢献するプログラムを評価・促進するため、2014年度より社会貢献プログラム影響評価指標を設定し、PDCAプロセスを構築しました。指標は「社会への影響」「会社への影響」「マツダらしさ」の3つの視点で設定し、評価しています（具体的には、「受益者の数」「従業員の参加数」「社会貢献3つの柱との整合」などの8項目構成）。

### マツダ社会貢献活動優秀賞

優れた社会貢献活動に対する表彰制度「マツダ社会貢献活動優秀賞」を2015年1月に創設しました。この制度は、マツダグループで取り組んでいる活動をより多くの方に知っていただくとともに、社内外に喜ばれる活動がさらに増えていくことを目的としています。表彰対象は、社会貢献プログラム影響評価指標をふまえ、社会貢献委員会ワーキンググループメンバー、マツダ労働組合、およびマツダ労働組合連合会が連携して評価し、社会貢献委員会で選定します。受賞した活動に対しては、毎年1月、会社創立記念日にあわせて社長名の表彰状が贈られます。

#### 第9回マツダ社会貢献活動優秀賞

2022年度の表彰対象は、マツダ社会貢献活動レポート<sup>※3</sup>掲載の社会貢献活動（活動時期：2021年4月～2022年3月）の中から選ばれました。

#### 第9回マツダ社会貢献活動優秀賞

	活動名
大賞	トイドライブ （マツダデメヒコビークルオペレーション）
特別賞	ウクライナへの支援 （マツダモーターヨーロッパN.V.）
特別賞	子どもたちへの学習支援（マツダ（株））
奨励賞	折り鶴プロジェクト （マツダモーターズオブニュージーランドLtd.）

※1 日本、米国、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカでは、別途マツダ財団を通じての活動を実施。

※2 社会貢献活動該当範囲：マツダ単体と主要子会社の連結ベース。金銭寄付、現物寄付、施設開放、社員の参加・派遣、自主プログラム、自然災害被災地支援。

※3 マツダ株式会社企業サイト「社会貢献への取り組み」  
<https://www.mazda.com/ja/sustainability/social/>

## 従業員ボランティア活動支援

従業員がボランティア活動に積極的に取り組めるよう、支援を行っています。

- 活動する機会の提供（マツダスペシャリストバンク、マツダボランティアセンターなど）
- 活動する費用の一部補助（マツダ・フレックスベネフィット<sup>※1</sup>など）
- 活動に伴う休暇の支援（ハートフル休暇制度に含まれるボランティア休暇など）
- ボランティア研修受講機会の提供

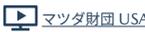
## 自然災害被災地支援

マツダグループでは被災地の復興を願ってさまざまな支援を行っています。地震や異常気象などが生じた際、マツダ本社と現地拠点が連携をとり、適切な支援を行っています。

支援事例：東日本大震災／平成29年九州北部豪雨／平成30年7月豪雨（西日本豪雨）／平成30年台風21号／平成30年北海道胆振東部地震／令和元年台風19号／令和2年7月豪雨災害（日本）、米国ハリケーン（米国）、メキシコ地震（メキシコ）、タイ南部洪水（タイ）、トルコ・シリア地震（トルコ・シリア）など。

## 財団を通じた社会貢献

マツダおよびグループ会社は5カ国で財団を設立し、それぞれの地域に適した支援活動を促進しています。

国	財団名	支援内容／目的	設立年	2022年度助成（寄付）金額
日本	 マツダ財団	科学技術の振興と青少年の健全育成	1984年	5,112万円
米国	 マツダ財団 USA	教育・環境保護・社会福祉・異文化交流の助成	1990年	49.8万米ドル
オーストラリア	 マツダ財団 オーストラリア	教育・環境保護・科学技術振興の助成、社会福祉関連取り組みへの貢献	1990年	125.4万豪ドル
ニュージーランド	 マツダ財団 ニュージーランド	教育・環境保護・文化活動の助成	2005年	22.2万NZドル
南アフリカ	マツダ財団 南アフリカ	教育、キャリア開発、技術開発、環境保全などへの貢献	2017年	104.5万ランド

### TOPICS

#### トルコ・シリア地震に対する支援

マツダは、トルコ・シリア地震の被災地域ならびに被災者への支援活動に役立てていただくため、日本赤十字社を通じて、1,000万円を寄付しました。また、トルコ・シリア周辺国の販売会社などでは、被災地での人道支援活動を支えるため慈善団体などへ寄付を行いました。

 [トルコ・シリア地震に対する支援](#)

※1 選択型の福利厚生制度。あらかじめ定められたポイントの範囲内で社員個人が選んだ福利厚生メニューの補助が受けられる仕組み。

## 環境

マツダのビジネスは地球温暖化やエネルギー・資源不足などの社会的課題に関係／影響があります。これらの課題に対応するため、本業のみならず社会貢献活動においても「環境」の視点を大切にしています。

### 生物多様性への取り組み

【日本】マツダ(株)

マツダR&Dセンター横浜は、横浜市提唱の「京浜の森づくり」事業に賛同し、企業・大学・行政・市民の産学官民で構成する「トンボはどこまで飛ぶかフォーラム」のトンボ飛来調査を支援し、地域と連携した自然の再生・緑の拡充に取り組んでいます。この調査では、トンボを指標にして「十分な緑地があり生物多様性（生態系）に配慮した緑地の質が保たれているか」の検証が行われます。2022年度は、同フォーラムの20周年記念イベントが開催され、パネリストとして参加したり、ピクトブ見学ツアーを実施したりしました。

\* [https://tombforum.com/?page\\_id=12](https://tombforum.com/?page_id=12)

[活動開始年] 2004年



### カーボンオフセット

【日本】マツダ(株)

命名権を取得した広島市民球場（MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島）のナイター照明用として排出しているCO2約97トン（推定量）を、広島県の森林吸収量クレジット（広島県営林J-クレジット）で、オフセットしました。この取り組みは、広島県の「広島県の森を育て、排出するCO2を吸収しよう」というカーボンオフセット（森林保全）の取り組みにマツダが賛同し、球場での活用の提案に広島県、広島市、広島東洋カーブが合意したことにより、2013年度から行っています。

[活動開始年] 2013年



### 森林保全活動

【日本】マツダ(株)

広島県と山口県で地域の森林保全活動に参画しています。広島県では2010年に広島県と「森林保全・管理協定」を締結し、広島県緑化センター（広島市東区）内の「マツダの森」を中心に保全活動を行っています。また、「ひろしま森林（もり）づくりフォーラム」に加入し、広島県内の森林関係団体と連携して「企業の森づくり」を推進しています。山口県では、県が実施する利水企業による「企業との協働による水源の森づくり」に2005年から、佐波川流域森づくりの会主催の「佐波川流域大平山ふれあいの森づくり」に2013年から参加しています。

[活動開始年] 2010年（マツダの森）



### カレンダー・手帳の寄贈

【日本】マツダ(株)

年末に関係先からいただいたカレンダーや手帳を従業員から収集し、企業等社会貢献活動研究会\*を通して、社会福祉団体などへ毎年寄贈しています。

\*広島市が主体となり、広島市内に本社または支社・支店を置き、社会貢献活動に取り組む企業・団体で構成された組織。

[活動開始年] 1999年



### 海洋プラスチックゴミ削減への取り組み

【日本】マツダ(株)

「GREEN SEA瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（以下：GSHIP）」に参画し、海岸清掃を行いました。GSHIPは、海洋プラスチックごみによる環境汚染が世界的な問題となっている中、瀬戸内エリアにおける課題解決に向け、官民連携の組織体として設立されました。2022年度は、広島県坂町のビーチにおいて行政と連携し、海岸清掃を行いました。

[活動開始年] 2022年



### 地域清掃活動

【日本】マツダ(株)、グループ会社、全国の販売店

環境美化意識の向上と清潔で快適な美しいまちづくりを目的として、地域行政や団体と連携し、マツダグループの従業員やご家族など、多くの仲間たちと一緒に地域清掃活動を行っています。マツダは、1996年6月の環境月間より、毎月第4水曜日を「会社周辺清掃日」と決め、社員が気軽に参加できる地域貢献活動の一つとして、広島本社各門（10ヶ所）の周辺道路の清掃活動に取り組んでいます。

[活動開始年] 1996年



## 環境

マツダのビジネスは地球温暖化やエネルギー・資源不足などの社会的課題に関係／影響があります。これらの課題に対応するため、本業のみならず社会貢献活動においても「環境」の視点を大切にしています。

### アースアワーへの参加

【日本】マツダ(株)、グループ会社、販売会社

「EARTH HOUR(アースアワー)」は、WWF(世界自然保護基金)が主催するライトダウンイベント(世界中の人々が、同じ日・同じ時間帯に電気を消して地球環境を考える)で、2007年の開始より参画しています。2018年より、広島県、広島市、地元のNPO法人「Heart of Peaceひろしま」とマツダが協力した環境啓発イベントを広島市平和記念公園の親水護岸にて実施しています。

2022年度は、グループ会社を含め国内700以上の施設で消灯を実施しました。

[活動開始年]2010年



### ツリーメンダスプロジェクト

【ニュージーランド】マツダモーターズオブニュージーランドLtd. (MMNZ)、マツダ財団ニュージーランド

2004年よりニュージーランドの代表的な保護団体「プロジェクト・クリムゾン・トラスト」の活動支援を行っています。

2022年度は、屋外エリアを教育課程へ組み込む実践的な学習を開発支援し、子供たちが自然の中で学び、環境配慮や固有の動植物の大切さについて学ぶ機会を提供しています。

[活動開始年]2004年



### 竹林整備

【日本】マツダロジスティクス(株)

自動車および部品運送を行うマツダロジスティクスは、2009年より、広島市の「ふれあい樹林事業」\*で指定されている竹林の維持管理ボランティアを行っています。NPO法人「もりメイト倶楽部Hiroshima」と連携しながら、里山整備士の指導の下、古い竹などを間引きながら荒廃した近隣の里山の整備に定期的に取り組んでいます。

\* <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/138/7450.html>

[活動開始年]2009年



### ツリー・ザット・カウント

【ニュージーランド】マツダモーターズオブニュージーランドLtd. (MMNZ)、マツダ財団ニュージーランド

「プロジェクト・クリムゾン・トラスト」が始めた「ツリーズ・ザット・カウント」の取り組みを支援しています。マツダの新車が1台販売されるたびに、お客様に代わって5本の自生の木が購入されます。

2022年度は30,215本の木が購入されました。2018年の開始以降、合計約15万本の自生の木を購入してきました。

[活動開始年]2018年



### 動物園や保護センターの支援

【ニュージーランド】マツダモーターズオブニュージーランドLtd. (MMNZ)

オークランド動物園\*で行われている「絶滅危惧種の動物たちを園内で繁殖させ、野生に戻すプログラム」に賛同し、2012年より車両の提供を行っています(MAZDA3、CX-8、BT-50)。スタッフによる野生動物の保護活動や、動物たちを国内の他の地域へと移動させることを含めた日々の業務で活躍しています。また、地域の学校の生徒たちがオークランド動物園を訪れ動物や環境について学ぶコンテストなどへのサポートを行っています。

2022年度は、最優秀賞に選ばれたクラスに動物園の飼育員に会える機会をつくりました。

\* <https://www.aucklandzoo.co.nz/> (英語ページのみ)

[活動開始年]2012年



### スクールバッグプロジェクト

【南アフリカ】マツダサザンアフリカ(Pty) Ltd. (MSA)、マツダ財団南アフリカ(MFSA)

使用済みのビルの素材を地元の小規模な生産者に寄付し、高品質でユニークなスクールバッグやペンケースにリサイクルしてもらい、児童・生徒の皆さまに届ける活動に取り組んでいます。環境への影響を軽減するだけでなく、バッグを生産する人々の雇用創出にも貢献し、学校の子供たちに道具や資源の提供も行いました。

[活動開始年]2019年



## 安全

マツダのビジネスは交通事故などの社会的課題に関係／影響があります。これらの課題に対応するため、本業のみならず社会貢献活動においても「安全」の視点を大切にしています。

### 交通安全啓発イベント

【日本】マツダ(株)

交通事故で死傷される方の多くが、シートベルト非着用、またはチャイルドシートを適切に使用していないという実態を受け、JAF広島支部や広島県内の関連施設の皆さまと共に、シートベルトの着用促進を目的としたイベントを継続的に開催しています。子供たちに実験やクイズなどの体験を通じて交通安全について学んでいただきました。

2022年度は、広島県福山市みろくの里や広島市マツ交通ミュージアム、5-daysこども文化科学館などで実施しました。

[活動開始年] 2019年



### スクールガードボランティア

【日本】マツダ(株)、販売会社

社会人ラグビーチーム「マツダスカイアクティブズ広島」は、「広島県夏の交通安全立哨週間」において、広島市、広島県警察、交通ボランティアの皆さまと連携し、交通事故を未然に防ぐために旗振りによる啓発活動を行いました。国内の販売会社においても、店舗周辺で旗振り活動などの交通安全立哨活動を継続して行い、児童の見守り活動を行っています。

[活動開始年] 2022年



### 交通安全に関する出前授業

【日本】マツダ(株)

マツダ本社近隣の小学校から高校までの児童・生徒の皆さまに、安全技術開発に携わる従業員による職業講話を通じて、交通安全啓発を行っています。また、広島市教育委員会、広島県警察とも連携し、JAF広島支部の交通安全啓発プロジェクト「JAFみらいプロジェクト」にも参加し出前授業を行っています。

[活動開始年] 2022年



### カーブミラー清掃

【日本】販売会社

国内の販売会社は、店舗周辺で交通安全立哨活動やカーブミラーの清掃・点検を定期的にも実施しています。カーブミラーの視認性、破損などの状況を管轄警察署に届け出ること、通行車両の交通事故防止を目指しています。

[活動開始年] 1999年



### 交通安全ノベルティの配布

【日本】マツダ(株)

行政及び社会人ラグビーチーム「マツダスカイアクティブズ広島」と連携し、ラグビーの試合会場にて、交通安全啓発を目的に製作した反射リストバンドを配布し、市民に飲酒運転ゼロ、シートベルト着用などを呼びかけました。

[活動開始年] 2022年



## 人材育成

人は社会や企業活動の要であり、次世代を担うとの考えの下、社会貢献活動においても「人材育成」の視点を大切にしています。

### 体験型学習支援

【日本】マツダ(株)

子どもたちに様々な分野の科学技術やものづくりに興味を持ってもらう体験型学習支援として、2018年より自動車技術会主催の小学生向け夏休みイベント「キッズエンジニア」に参加しています。

2022年度は、「音のみみつを探ろう」をテーマに、身近な材料を利用して、自動車のマフラー製作体験を実施しました。

【活動開始年】2018年



### スポーツ教室

【日本】マツダ(株)

マツダの企業スポーツクラブは、スポーツの楽しさ・基本スキルの向上を目的に、ラグビースクールやラグビー教室、陸上教室やバレーボール教室を開催しています。

2022年度は、ラグビー教室を8回実施し、延べ約800名が参加しました。また、会社施設を開放して中学生へのラグビー指導を行っています。

【活動開始年】1930年代



### 産学官連携 共創ゼミ

【日本】マツダ(株)

新たなモノづくりと新たな時代を形成し得る人材の育成と、広島が世界に誇れるモノづくりの地となることを目指し、広島市立大学芸術学部との協働による共創ゼミを開設しています。これは、「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の「2030年産学官連携ビジョン」の一つである、「広島を自動車に関する独自の技術と文化を追い求める人々が集まり、世界を驚かせる技術と文化が持続的に生み出される聖地にする」に基づき取り組みを開始した活動です。

【活動開始年】2017年



### 教員向けの企業講話

【日本】マツダ(株)

学校の先生を対象とした企業講話を行っています。

2022年度は、小学校・中学校・高校において3件実施しました。小学校では社会科学習（工業）における事前の見学会、中学校では技術家庭科の先生を対象とした「ものづくり講話」、高校では「これから求められる人材」について講話を行いました。

【活動開始年】2022年



### マツダ学習支援サイト

【日本】マツダ(株)

マツダの企業サイトでは、クルマができるまでの流れやモノづくりの工夫を伝える小学校向けの社会科学習コンテンツや、安全やSDGsに関するクイズを提供しています。また、ペーパークラフトや塗り絵がダウンロードできるコンテンツもご用意しています。

【活動開始年】2003年



### 職場体験の受け入れ

【日本】マツダ(株)、販売会社、グループ会社

【タイ】オートアライアンス(タイランド) Co., Ltd. (AAT)

自動車に興味を持ち、将来の職業選択の幅を広げてもらうことを目的に、中学生に向けた職場体験を実施しています。東海マツダ販売では、座学を中心にマツダの取り組みや販売会社の事業内容を紹介し、ショールームと整備工場の見学、マツダ車の見取りを行いました。整備工場では、使用工具に触れたり、軽作業や洗車を体験していただきました。AATは、1998年から大学と連携し、教育省の学業プログラムに沿ったインターンシップの受入を行っています。タイの発展に貢献する優秀な学生の輩出を目指し、働くことを経験しながら、有益な知識を得る事を目的としています。

【活動開始年】マツダ:2015年、グループ会社:2000年、AAT:1998年



## 人材育成

人は社会や企業活動の要であり、次世代を担うとの考えの下、社会貢献活動においても「人材育成」の視点を大切にしています。

### 出前授業

【日本】マツダ(株)、マツダ病院、販売会社、グループ会社

地域の学校に出向き、正しい職業観を身につけ、将来の生き方への視野を広げてもらう事を目的に様々な出前授業を行っています。広島県看護協会では「看護の日」事業の一環として、「みんなで話そう看護の出前授業」を行っています。現場で働く看護師が中学校や高校などを訪問し、看護の仕事の魅力や体験を交えながら生徒に直接語る「出前授業」を行うものです。

2022年度は、当院より看護師2名が中学校を訪問し、中学1・2年生向けに出前授業を行い、「看護師の仕事」「看護への道」「ストレートネックの後遺症について」「手指衛生方法」や「脈拍測定」の体験を行いました。

[活動開始年] 1994年



### 学生フォーミュラの支援

【日本】マツダ(株)、(株)マツダE&T

マツダとマツダE&Tは、「ものづくりの本質やそのプロセスを通じて、創造性に満ちた技術者の育成を目指す」という趣旨に賛同し、自動車技術会主催の学生フォーミュラ大会をスポンサーとして支援しています。

2022年度は、協賛に加えて大会期間中にブースを出展し、来場した学生と交流しました。

[活動開始年] 2015年



### 工場見学の受け入れ

【日本】マツダ(株)

【メキシコ】マツダデモヒコビークルオペレーション(MMVO)

広島本社では、社会科学習の授業で日本の自動車産業を学ぶ小学校5年生に、マツダのモノづくりを紹介しています。毎年約600校の学校団体を対象としたマツダミュージアム(工場)見学を実施しています。そのほか、県外から修学旅行で来られた高校生に対しても、実際の生産ラインの見学を実施するなど、学校の学習カリキュラムに合わせてマツダのモノづくりを紹介しています。防府工場(山口県)でも、1982年の操業以来工場見学の受け入れを実施しています。

MMVOは、マツダと自動車産業への関心を高めることを目的として、中学生向けに工場見学を実施し、生産工程やからくり改善などの日本の哲学について学んでもらいました。

[活動開始年] 広島:1994年、防府:1982年



### 職場見学の受け入れ

【日本】マツダロジスティクス(株)

マツダロジスティクスは、中国海事広報協会と共に、港湾を通じた物流見学会を毎年開催しています。

2022年度は、社会科見学で来場した小・中学生に、巨大なクレーンと、コンテナの種類や役割について説明し、荷役機械でのコンテナ吊り上げ作業を見学行いました。

[活動開始年] 2004年



### 教育現場への寄付・寄贈

【日本】(株)日本クライメイトシステムズ(JCS) 【タイ】マツダセールス(タイランド)Co., Ltd.(MST)

【メキシコ】マツダデモヒコビークルオペレーション(MMVO) 【中国】長安マツダ汽车有限公司(CMA)

日本クライメイトシステムズは、「東広島マツダ会」(東広島市と近隣のマツダ協力企業32社でつくる団体)として、文学書などの書籍約300冊を県立の児童自立支援施設へ寄贈しました。

MSTは、COVID-19の影響を受けた子どもたちを支援することを目的として、「マツダキャラバンシェアリングハピネス」プロジェクトを立ち上げ、4つの州で実施し、マツダ車で各地を回り奨学金や文房具、スポーツ用品などを子どもたちに提供しました。

MMVOは、サラマンカ市とイラブアト市の生徒たちに80個のスクールキットを集め、新学期を迎える小学生に届けました。

CMAは、100万人民币を小学校に寄付しました。寄付金は、外周壁などを含む小学校のインフラ施設や新しいサッカー場の建設に使用されます。

[活動開始年] 日本クライメイトシステムズ:1996年、MST/MMVO/CMA:2022年



## 地域貢献

ビジネスを展開している国・地域において、各地域社会が抱える固有の課題に対応するため「地域貢献」の活動を推進しています。

### 鵜飼乗船場の草刈り

【日本】マツダ(株)

マツダの自動車試験場がある三次事業所(広島)は、三次市内の企業・団体と合同で、鵜飼乗船場周辺の草刈りやゴミ拾いを毎年実施しています。この活動は、三次事業所の「労使協働社会貢献活動」の一環として、鵜飼乗船場の清掃や遊覧船の塗装などのボランティア活動を始めたことがきっかけで始まりました。

2022年度は、マツダ関係者60名を含む145名7団体が参加し、鵜飼乗船場周辺の清掃活動を行いました。

[活動開始年] 1990年代初頭



### スペシャルオリンピックス広島大会のサポート

【日本】マツダ(株)

広島県で開催された「2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島」にスポンサーとして協賛し、ボランティア活動など様々なサポートを行いました。具体的には、事務局や大会会場VIPの移動車両としてCX-5などを提供したほか、マツダグループから313名のボランティアスタッフが選手のサポートや競技運営、ケータリング、警備などを行いました。

\* <https://sonippon.wixsite.com/so-2022-hiroshima>

[活動開始年] 2022年



### 社会福祉団体への車両寄贈

【日本】マツダ(株)

命名権を取得した広島市民球場(MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島)の来場者数100万名の節目ごとに、マツダ車1台を社会福祉団体に贈呈しています。

2022年度は、広島市内2か所の社会福祉団体に1台ずつを贈呈し、贈呈先様とともに贈呈セレモニーを実施しました。福祉施設利用者の作業場所への移動などにご利用いただいています。

[活動開始年] 2009年



### パレードカーの提供

【日本】マツダ(株)、グループ会社、販売会社

交通安全パレードや、防火・防災行事「東京消防出初式」に、パレードカーを提供しています。このイベントは、消防車両分列行進、消防演技、音楽隊とカラーガーズ隊による演奏演技、江戸消防記念会による木遣り、はしご乗りなどを披露する新春恒例の防火・防災行事として多くの方々に親しまれています。また、地域のお祭りにおいて歩行者や車両の通行の警備ボランティア参加しています。

[活動開始年] 2016年



### 公民館事業との連携

【日本】マツダ(株)

地域との「つながりづくり」「まちづくり」を目的として近隣の公民館と連携し、公民館まわりのブース出展や子供向けのモノづくり体験講座の実施を行っています。

2022年度は、溶かしたスズでキーホルダーを作る「鑄造体験」を通じ、モノづくりの楽しさを親子で体験していただきました。

[活動開始年] 2019年



### 福祉作業所の支援 ウェス加工用布類の収集

【日本】マツダ(株)、(株)マツダE&T、マツダエース(株)、トーヨーエイテック(株)、マツダロジスティクス(株)

マツダとグループ会社は、広島市内福祉作業所のウェス加工事業を支援するため、本社(広島)構内の入退場門に収集箱を設置し衣類などを収集し、作業所に提供しました。この活動は、作業所より「ウェスの加工に必要な布類が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、平時より更に衣類などが集まりにくい」との声を聞き、収集を開始したものです。一連の作業を通じ、作業所の「はたらく」を支援するだけでなく、従業員のもとで役割を終えた衣類などが、新たな役割を担うという好循環も生んでいます。

2022年度は、各門、各企業内で合計 223.8kg (ウェス 2,686枚程度)の布類が集まりました。

[活動開始年] 2020年



## 地域貢献

ビジネスを展開している国・地域において、各地域社会が抱える固有の課題に対応するため「地域貢献」の活動を推進しています。

### フードロス削減の実現 フードドライブ

【日本】マツダ(株)、グループ会社マツダエース(株)、トヨーエイテック(株)、(株)マツダE&T、マツダロジスティクス(株)、(株)千葉マツダ 他販売会社  
【アメリカ】マツダノースアメリカンオペレーションズ(MNAO)

マツダ、グループ会社、販売会社は、「食品ロスの削減」「地域共生」を目的に、家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設、フードバンクなどへ寄付する「フードドライブ」を実施しています。

2022年度マツダでは、広島本社の構内と独身寮に収集箱を設置し、回収した食品を仕分けした後、フードバンク事業を行っている各種団体へ寄贈しました。

収集量：合計293.1kg(参加企業含む各門・従業員寮で収集した食品の収集総重量)

[活動開始年]2021年



### お客さまアンケートによる公益団体への寄付

【日本】マツダ(株)、販売会社

マツダの国内の販売店は、お車を購入されたお客さま、または整備・点検などを受けられたお客さまに、販売店の対応・サービスに対するご意見・ご要望をお聞きする「お客様の声をお聞かせください」アンケートをウェブにて実施しています。このウェブアンケートにお答えいただくと、対象期間中のご回答1件につき50円をマツダが、社会貢献活動を行っている公益団体の支援のため寄付を行います。2022年度は、赤い羽根共同募金を通じて「赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」と、「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」へ寄付を行い感謝状が授与されました。

[活動開始年]2012年



### ドライブを通じて子供たちに笑顔を サントドライブ

【日本】マツダ(株)、(株)マツダE&T 【コロンビア】マツダデコロンビアS.A.S.(MCOL)

マツダとマツダE&Tは、ロードスタークラブオブジャパン(RCOJ)が主体となる、ひとり親家庭の親子向けサントドライブ(横浜・広島)の運営をサポートしています。マツダからもサンタクローズやトナカイに扮した役員や従業員が参加しました。

2022年度横浜では、「子どもたちと街に笑顔を。」をテーマに約170名の参加者スタッフが30台のオープンカー(ロードスター)に乗り、横浜の観光地を交代でドライブしました。MCOLは、路上生活を強いられている子どもの保護活動を行うNGOと連携し、サンタプロジェクトを実施しています。

2022年度は、60名の子どもたちと従業員が、クリスマスの装飾を施したマツダ車に乗り映画館までドライブし、映画鑑賞を楽しんだ後、子どもたちへプレゼントを贈りました。

[活動開始年]日本:2001年 コロンビア:2019年



### スポーツ・文化の支援

【日本】マツダ(株)、(株)甲信マツダ、(株)広島マツダ 他販売会社

【メキシコ】マツダメヒコビークルオペレーション(MMVO)

【オーストラリア】マツダオーストラリアPty. Ltd. (MA)

【タイ】マツダセールス(タイランド)Co., Ltd. (MST)

マツダや国内の販売会社、海外の販売統括会社は、地域のスポーツおよび文化振興に寄与することを目的に、地元のスポーツチームや選手、交響楽団などの支援を行っています。マツダは、サンフレッチェ広島、広島東洋カープ、広島交響楽団をはじめとする様々な団体へ協賛などを行っています。2020年からは、プロバスケットチーム「広島ドラゴンフライズ」を、マツダはオフィシャルパートナーとして、広島マツダ はダイヤモンドパートナーとして、それぞれ支援しています。



### セーフティ・ステーション・子ども110番の家設置

【日本】マツダ(株)、マツダエース(株)、販売会社

マツダ、グループ会社、販売会社は、地域の皆さまの見守りを目的とした活動を行っています。マツダエースでは、マツダ(本社)構内の9か所と自動車試験場のある三次事業所の2か所の警備所に「セーフティ・ステーション」「子ども110番の家」を設置しました。登下校中の子どもたちの見守りや、女性や高齢者などすべての地域住民に対する一時保護、警察への通報を行うなどの取り組みを行っています。「マツダを守る警備所」にくわえて「地域も見守る警備所」としても取り組んでいます。

[活動開始年]マツダエース:2020年



### 繋がる平和の祈り 折り鶴プロジェクト

【日本】マツダ(株) 【カナダ】マツダカナダ, Inc. (MCI)

【オーストラリア】マツダオーストラリアPty. Ltd. (MA)

【コロンビア】マツダデコロンビアS.A.S.(MCOL)

世界各国の販売統括会社から千羽鶴を集め、広島市にある平和記念公園に奉納しています。この活動は、コロナ禍で千羽鶴の寄贈数が激減したことから広島市まちづくり市民交流プラザより協力依頼があり始まりました。現在では世界中のマツダ従業員・販売統括会社・お客さまと、平和を祈念したり、グローバルでのつながりを体感する活動となっています。2022年度は、10カ国が参加し、合計約24,000羽の折り鶴が集まりました。集まった折り鶴は社会福祉施設で千羽鶴へ仕立てていただき、広島市に奉納しました。

[活動開始年]2020年



## 地域貢献

ビジネスを展開している国・地域において、各地域社会が抱える固有の課題に対応するため「地域貢献」の活動を推進しています。

### マツダ駅伝大会の開催

【日本】マツダ(株) 【メキシコ】マツダデメヒコピークルオペレーション(MMVO)

マツダは、地域の皆さまと交流を深めることを目的に、敷地を開放し駅伝大会を開催しています。広島では、地域の皆さまに参加いただく「コミュニティの部」とお取引先さまに参加いただく「お取引先さまの部」を設け地域の皆さまと交流しています。

MMVOは、工場の一部敷地を利用し、駅伝大会を開催しています。この活動は、日本の文化を地域へ紹介するとともに、従業員やその家族、地域の人々と充実した時間を過ごすことを目的としています。

2022年度は、合計 587 チームが参加し、世界中から約 3,000 人のランナーが参加しました。

[活動開始年] 日本：2008年 MMVO：2015年



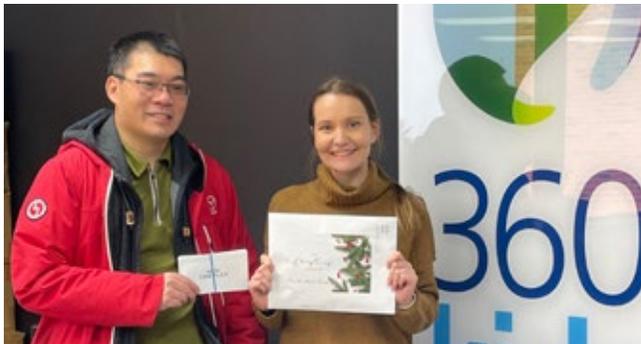
### 医療支援

【カナダ】マツダカナダ, Inc. (MCI) 【オーストラリア】マツダオーストラリアPty. Ltd. (MA)

MCIは、がんなどの病気の子どものために支援するスポーツイベント「Sporting Life 10K Run」に従業員とその家族が参加し、病気と闘う子どもたちが参加するサマーキャンプ体験の資金の調達に協力しました。このキャンプは、小児がんなどに侵された子どもたちに、チャレンジングで楽しく、実りの多い魅力的な体験を通じて成長する機会を提供しています。

MAは、地域医療への貢献と従業員の地域ボランティア参加を促進するため、毎年王立小児病院のランニングイベント「Run for the Kids」を支援しています。イベントを通じて集められた募金は、王立小児病院の重要な研究、施設、機器のために活用されます。

[活動開始年] MCI：2011年 MA：2006年



### 売上の一部が寄付金に 支援型自動販売機の設定

【日本】マツダパーツ(株)、マツダエース(株)、(株) 神戸マツダ

マツダのグループ会社、販売会社は、支援型自動販売機を設置し、売り上げの一部(3~5%)を福祉団体などに寄付しています。寄付金は、交通遺児支援や原爆ドーム保存、飲酒運転撲滅運動の支援などに使用されます。また、自動販売機にオリジナルラッピングを施すことで啓発効果も期待でき、気軽に取り組める活動として今後も継続していく予定です。

[活動開始年] (株) 神戸マツダ：2008年 (株) マツダエース：2011年 マツダパーツ：2016年



### トイドライブ

【メキシコ】マツダデメヒコピークルオペレーション(MMVO)

MMVOは、従業員から寄贈されたおもちゃを社会的、経済的に不利な状況にある子どもたちへ寄付するキャンペーンを実施しています。メキシコではホリデーシーズンの最終日となる「東方三賢者の日」(1月6日)までに、プレゼントを受け取るための手紙を子ども達を書く風習があり、毎年この日に合わせて活動を実施し、従業員から寄せられたおもちゃを子どもたちへ寄付しています。

2022年度は、子どもたちへ3,176個のおもちゃを寄付しました。

[活動開始年] 2015年



### 多文化共生に向けた国際交流

【日本】(株) 日本クライメイトシステムズ(JCS)

日本クライメイトシステムズは、国際交流の促進および多文化共生を目指した「東広島市国際交流フットサルリーグ」を広島大学、広島県警察本部、広島日伯協会とともに支援するとともに、外国人従業員でチームを編成して参加しています。さらに、日本クライメイトシステムズが会長および事務局を務める「東広島マツダ会」は、資金協力をはじめとする運営の協賛を行っています。

[活動開始年] 2008年



### 新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援活動

【タイ】マツダセールス(タイランド) Co., Ltd. (MST)

MSTは、COVID-19の影響を受けた地元の人々や子どもたちを支援することを目的として、「マツダキャラバンシェアリングハビネス」プロジェクトを立ち上げました。マツダ車で4つの州を回り、奨学金や文房具、スポーツ用品などを子どもたちに提供しました。

また、全国の販売代理店と共同で、ショールーム前に生活必需品をシェアする場を設置し、お客さまから支援物資を提供いただき、それを必要とする地域の皆さまに届けました。

[活動開始年] 2022年



発行：マツダ株式会社 コーポレート業務本部 総務部

本社所在地：広島県安芸郡府中町新地3-1 〒730-8670

発行年月日：2024年5月